

## 塗布するふっ素樹脂の潤滑コーティング剤

# テフコート

摩擦係数0.04~0.09で、氷のつぎによくすべる物質〈ふっ素樹脂〉のドライ潤滑膜が、ハケ塗り、スプレー（スプレー器具使用）でできます。

金属、ガラス、セラミックス、木などの表面にテフコートを塗布してください。乾燥しますと厚さ約10ミクロンの半透明でフィルム状の潤滑皮膜を形成します。

〈ふっ素樹脂〉は他の固体潤滑剤にくらべますと潤滑特性は抜群ですが、耐荷重性は小さく軟らかいので、軽荷重物の〈すべり〉や付着防止にご活用ください。



荷姿

1ℓ、4ℓ広蓋缶入り

### 特 長

- ふっ素樹脂をつなぐバインダーにも、高潤滑性の樹脂を用いており、〈すべり〉の良さは最高です。
- 常温下でドライ皮膜を形成しますから、熱に弱い対象物にもコーティングできます。
- 対象物には強く密着します。
- 皮膜は薄く（5～18μ）、組立部品なども設計を変えずに用いることができます。

### 用 途

- \* 機械、コンベアーのシュート部分の〈すべり〉と付着防止に。
- \* ふるい、スクリーンメッシュ部の〈すべり〉、付着防止に。
- \* 事務機、自動販売機、自動発券機、印刷機などのスライド部分の〈すべり〉と引っかかり防止に。
- \* 作業台上の〈すべり〉と付着、ひっかかきの防止に。
- \* 敷居、カーテンレール、サッシの〈すべり〉に。



## 技術資料

ふっ素樹脂の種類

PTFE (四ふっ化エチレン樹脂)

生成した皮膜の物性

色 : 半透明 (わずかに乳白色)

耐熱上限 (連続使用) : 82°C

〃 (断続使用) : 116°C

耐薬品性 : ガス体には強いが、液体には弱い。

耐溶剤性 : 弱い。

耐水性 : 水しぶきははじきますが、長時間水に漬けておくとバインダーが膨潤して、皮膜が剥離しやすくなります。

皮膜の除去 : 石油溶剤 (MEK、シンナーなど) で拭きとります。

## 使用方法

### 1. 準備

ふっ素樹脂は重いので沈降していますから、缶の蓋をとって内容が均一になるようよく混ぜてください。粘度はハケ塗りに適するよう調節してあります。しかし、スプレー器具を使用する場合などで粘度が高すぎるときは、専用のうすめ液をご使用になるか、少ししたら、IPA (イソプロピルアルコール) かMEK (メチルエチルケトン) を加えて粘度を下げてください。

### 2. 塗布する面の前処理

塗布する面のゴミ、油、水分を完全に除きます。洗浄液を使用したときは、その洗浄液を完全に乾かしてください。金属面に塗布するときは、塗布する面をサンドペーパーなどで荒らしておく、皮膜はより強く密着します。

### 3. 塗布、スプレー

塗布用のハケは毛の柔らかなものが適しています。スプレー器具を使用するときは、ふっ素樹脂の沈降に気をつけてください。

皮膜はなるべく薄く、均一になるように塗布、スプレーしてください。皮膜が厚くなり過ぎますと、潤滑性はかえって悪くなります。

### 4. 乾燥

塗布、スプレー後約5分で手につかない程度になり、約2時間で完全に乾燥しますので、完全に乾燥してから使用開始してください。完全に乾燥しないまま使用しますと、潤滑が不充分だったり、皮膜が剥離することがあります。

## ■強度、耐荷重性

皮膜の強度、耐荷重性、潤滑性は、処理対象の材質、処理面の精粗、洗浄度などにより異なりますから、数値で表すのは困難です。

一般にふっ素樹脂は、二硫化モリブデン、グラファイト、窒化ほう素などの固体潤滑剤に比べて、潤滑性はまさりますが、耐荷重性、耐摩耗性とも小ですから、軽荷重で角のないものの潤滑、〈すべり〉に適しています。

## ■耐熱性について

PTFEの耐熱上限は260°Cですが、テフコートには、潤滑性と皮膜形成性にすぐれる反面耐熱上限の低いバインダーを用いていますので、バインダーの耐熱上限がテフコートの耐熱上限になっています。高温下の潤滑、離型にはつぎの耐熱潤滑、離型剤 (いずれも当社製品) から適したものを選んでください。

商品名と荷姿	潤滑体	耐熱上限(酸化雰囲気中)
テフリーズ(エアゾール缶入り)	ふっ素樹脂(PTFE)	250°C
ブラックルブ(エアゾール缶入り)	黒鉛(グラファイト)	315°C
BNリリーズ(缶入り)	窒化ほう素(hBN)	900°C
BNコートM(缶入り)	窒化ほう素(hBN)	900°C
BNコートC(缶入り)	窒化ほう素(hBN)	900°C
ホワイトイルブ(エアゾール缶入り)	窒化ほう素(hBN)	900°C
ホワイトコート(エアゾール缶入り)	窒化ほう素(hBN)	900°C
ホワイトコート(プラスチック容器入り)	窒化ほう素(hBN)	900°C
ホワイトペイント(プラスチック容器入り)	窒化ほう素(hBN)	900°C
ホワイトペースト(プラスチック容器入り)	窒化ほう素(hBN)	900°C
ホワイトセブン(プラスチック容器入り)	窒化ほう素(hBN)	900°C